

第2次安曇野市スポーツ推進計画に係る第4回策定委員会 会議概要

1	委員会名	第2次安曇野市スポーツ推進計画策定委員会
2	日時	平成29年7月25日(火) 午後7時から午後9時まで
3	会場	安曇野市役所本庁舎3階 共用会議室306
4	出席者	古澤会長、加々美副会長、古屋委員、小池委員、二木委員、鈴木委員、湯本委員、 内田委員、古川委員、丸山委員、布山委員、宮澤委員、清水委員、新井委員、 一志委員、矢野委員 ※出席委員総数：16人
5	欠席者	太田委員、古幡委員 ※欠席者：2人
6	市側出席者	蓮井生涯学習課長、米倉スポーツ推進担当係長 スポーツ推進担当 平林主事、藤原主事 株式会社KRC 藤村室長
7	公開・非公開の別	公開
8	傍聴人	0人 記者 0人
9	会議概要作成年月日	平成29年8月1日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 協議事項等
 - ① 前回会議時の意見の確認
 - ② 今回の委員会の進め方について
 - ③ グループ討議
 - ④ 報告・まとめ
- (4) その他
- (5) 閉会

2 協議事項概要

① 前回会議時の意見の確認

※事務局より説明 (会議資料1・2)

② 今回の委員会の進め方について

※事務局より説明 (会議資料3)

3グループに分かれ、これまでの議論の中心であった以下2点について問題点と今後の対応策を提案していく。

- i 市民のスポーツ参加促進や場について
- ii スポーツを推進する体制・しくみ・人材等について

③ グループ討議(約90分間)

④ 報告・まとめ

【Cグループ】

- i 市民のスポーツ参加促進や場について

◆情報の発信・共有、ホームページからの検索について(意見多数)

- ・誰がどこで何をしているか、気軽に分かる仕組みづくりが足りていない。
- ・指導者(スポーツ推進委員、競技団体指導者)同士の連携がとれていない。お互い何をしているのかわからない。

◆気軽に施設を利用できる環境について

- ・施設予約のハードルが高いので気軽にできる場がほしい。

◆底辺の拡大について

- ・ニュースポーツはあまりレベルを気にせず取り組むことができるので、キーになる。
- ・ニュースポーツを振興するにあたって道具の購入が必要になるので、補助があるといい。
- ・ウォーキングは参加意欲が高いので、焦点を当てていったらよいのではないかな。

ii スポーツを推進する体制・しくみ・人材等について

◆指導者について

- ・指導者の他に、気軽に教えてくれる世話人のような人がいたらいい。
- ・スポーツへの参加促進は、キッズや年配の方を主なターゲットとして考えると良いのでは。

◆環境について

- ・安曇野市の環境を生かしたスポーツを推進することを考えるべき。

【Bグループ】

i 市民のスポーツ参加促進や場について

☆キーワード：多様性、やる気、世代別・性別、施設

- ・季節によってできないスポーツもあるが、同じ施設でさまざまな競技ができるとよい。
- ・簡単にできる、身近でできるスポーツがあるといい。
- ・そういった情報をうまく提供できる仕組みがあるといい。

ii スポーツを推進する体制・しくみ・人材等について

☆キーワード：指導者

- ・資格を取るといったことに対して資金面での支援があるといい。
- ・資格を取ることによるメリットがあるといい。(何かもらえる、減税される等)
- ・大学と連携しながら資格をとれる仕組みがあるといい。
- ・さまざまな人をつなぐ人が大切なのではないかな。
- ・指導者の人格が大切である。

【Aグループ】

i 市民のスポーツ参加促進や場について

◆競技スポーツの参加障壁の高さについて

- ・対人スポーツはレベルが違いすぎると参加できないので、まずは初心者が親子や友人同士で気軽に参加できる教室を市で開催するといいいのでは。
- ・親の負担が多いために、子どもがスポーツに参加できないという現状がある。スポーツをする子どもを支えることが、親にとって苦にならないようにするためには、子どものころから親子共にスポーツに親しむことが必要であると思うので、そんな機会を市等で提供できたらいい。

◆情報の取得について

- ・スポーツに関連した情報が入ってこないの、コンビニやスーパー区の回覧文書などさまざまな手段を使うべき。

◆体育施設の利用について

- ・既存の団体(体育協会、スポーツ少年団等)により体育施設が占領されてしまい、一般の方が使用しづらいと言われるので、現状を把握し、何らかの決まりを作った方が良ければ検討するべき。

ii スポーツを推進する体制・しくみ・人材等について

◆指導者の資格・人格について

- ・指導者の人格や資格が重視されるようになっているので、指導者が資格を取りやすい仕組みをつくるべき。

◆スポーツ推進委員の活動について

- ・情報発信をもっと積極的にすべき。

◆世代間交流について

- ・子どもが参加することで、その親や祖父母も引っ張り出すことができる。幅広い世代が関わるスポーツイベントを開催することで、“する”だけでなく、“みる”“ささえる”スポーツに関わる人を増やすことができる。

◆部活動について

- ・学校が求めていることと地域クラブができることを話し合い、すり合わせる場があれば、双方にとってメリットがあるのではないか。

【会長によるまとめ】

- ・やらなければいけない、やったら楽しそうだ、ということが見えてきた。一般の方、特に、高齢者、親子、障がい者の方を含め、世代間交流を進めることでスポーツに関する関心が高まり、ひいては競技スポーツの振興につながるのではないかと感じた。そして、指導者がどう関わるかが重要で、世話人として関わってくれる人が増えることで人の輪が広がっていくのではないかと思う。何よりそれぞれの現場の声が大切であり、それをすり合わせる機会をもっと作れるようにするとよいのではないか。今日は大きな課題とその対策案を出していただいた。この計画により市民の皆さんによりスポーツに関心を持ってもらえたらいいと思う。引き続き知恵を出していただけるとありがたい。今日はありがとうございました。

【会議終了】